



21世紀



学校教育目標：心豊かで たくましく生きる子どもの育成

令和7年5月22日

文化庁による「学校におけるぶんか芸術鑑賞・体験推進事業」

芸術鑑賞会を楽しみました。

5月8日（木）に、三遊亭兼好さんと丸一仙翁社中花仙さんによる、落語と江戸太神楽を鑑賞しました。

この日、60名ほどの地域の方が来校し、子どもたちと一緒に楽しんでいただきました。

目の前で、棒や毬（まり）を投げたり、傘の上でお茶碗を回したりする花仙さんの芸に、児童たちから拍手や歓声が上がっていました。



傘の曲芸に挑戦



落語に挑戦

兼好さんは、高座の上で、扇子と手ぬぐいを使って、いろいろな動作を表現したり、顔の向きや声の調子で役を演じたりする落語の面白さを丁寧に教えてくださいました。

お二方ともに子どもたちに伝統芸を体験させてくださいました。

積極的に手を挙げて挑戦する児童の姿に会場からも大きな拍手が起こりました。

サツマイモの苗を植えました。

5月13日（火）に、地域の方と一緒にサツマイモの苗を植えました。

毎年、地域ボランティアの方に一人一鉢運動や学習活動、読み聞かせなどに来ていただいて、お世話になっていますが、全校児童そろって感謝の気持ちを伝えることができず、申し訳なく思っている校長です。

そこで、今年は子どもたちが地域の方と触れ合い、感謝の気持ちを伝える機会を増やそうと考えた結果、サツマイモを育てて収穫し、地域の方と一緒にやきいもを食べようという考えに至りました。

この日は13名のボランティアさんが来てくださいました。まずはご挨拶ということで、自分

の名刺をお渡ししました。

そのあとは、学年に分かれて、サツマイモを植えました。

大きなサツマイモが採れるようにしっかり世話をしていきたいと思います。



名刺で自己紹介



植え方を教わりました